

加瀬みきの ワシントン発 グローバル随想

アリサ・リウが問う スポーツの将来



イラスト・題字：長峯亜里

第32回

冬季オリンピックは数々の感動を生んだが、何といてもフィギュアスケート、特に三浦璃来と木原龍一両選手の「りくりゅうペア」が話題をさらった。ショート5位から、心を震わせる「宇宙一！」の感動の演技で、ペア



「りくりゅう」は圧巻のフリー演技で日本初のペア五輪金メダルを獲得（写真：エンリコ/アフロススポーツ）

で初めて日本に金メダルをもたらした。ショートでの失敗後、ペアの立ち直りを支えた1人が、今回を最後のオリンピックと決めた坂本花織選手だった。自身は小さなミスはあったものの重圧に打ち勝ち、素晴らしい演技を披露。しかし、その彼女からわずか1.89ポイント差で金メダルの夢を奪ったのが、アメリカの天才的スケーター、アリサ・リウ(20歳)だった。

天真らんまんマイペース

史上最年少の13歳で米国選手権優勝。北京オリンピックでは6位、直後に16歳で引退したが、2024年に現役復帰、翌年の世界選手権で優勝した。今冬季オリンピックでは、スケートを心から楽しむ伸び伸びとした演技で金メダ

ルを獲得した。日本での「りくりゅう」同様、今アメリカではアリサに熱い視線が向けられ、彼女のファッションからアニメの好みまでがSNSをにぎわしている。

天真爛漫^{らんまん}なマイペース、衣装も曲もスケジュールも全て自分で管理しているという。特徴的なブロンドとダークブラウンがしまになっているヘアスタイルは、時を表す木の年輪をイメージしているようだ。アリサのアニメ好きはスケーターの間でもよく知られており、女子アスリートの活躍を扱う米メディア「The Daily W」がお気に入りを問うたところ、『呪術廻戦』『進撃の巨人』『チェンソーマン』などが挙がった。

リウという名字から分かるように彼女の父は中国人である。英名でアーサーと呼ばれる劉俊国氏は中国四川省で電気もないような家庭に育ち、師範大学を卒業。天安門事件時にアメリカに亡命し、カリフォルニア州で法律大学院を卒業後、弁護士になった。

アーサーはクリスティ・ヤマグチなどスケート界のスターに魅せられ、長女アリサが5歳の時スケートを始めさせ、すぐにその才能に気付いた。大金をはたいてレッスンに通わせ、優れたコーチに付け、大会で競わせた。

しかし、アリサの母は誰だろう。アーサーは一時期中国人女性と結婚していたが、この女性